

商店街に並ぶ露店を楽しむ買い物客
= 1日、南九州市川辺の川辺町商店街



露店のにぎわい春を呼ぶ

南薩に春を呼ぶ川辺二日市が1日、南九州市の川辺町商店街で始まった。冷たい雨の中、歩行者天国となった約1.3キロにおよそ400の露店が並び、買い物客でにぎわった。2日まで。

江戸時代中期から約240年の歴史があるとされる名物市。刃物や陶器、竹細工などの露店で品定めする人や、バナナのたたき売りや猿回しなどの

川辺二日市きょうまつまで

大道芸に見入る家族連れらで通りに傘の花が咲いた。

実家の金物店を手伝いに来た南さつま市の宮田美夏さん(56)は「二日市は昔から、寒かったり天気が悪かったりするもの。それでもたくさんの人が集まる。いつまでも続いてほしい」と話し、天気の回復が予想される最終日に期待を寄せた。

2025年2月2日19面

【問1】 川辺二日市は、どこに何を呼ぶと書かれているでしょう。

【問2】 約 1.3 キロの間におよそいくつの露店が並んだのでしょうか。

【問3】 いつの時代から約何年の歴史があるのでしょうか。

【問4】 露店の例として何が挙げられているでしょう。一つ書き抜きましょう。

【調べてみよう】 身近な地域で長く続いている季節の催しについて、調べよう。

むずかしい漢字とことば

南薩(なん・さつ) 呼(よ)ぶ

露店(ろ・てん) = 道ばたや寺社の境内(けい・だい)などで、商品を並べて売る、屋台の店。 並(なら)び

江戸(え・ど) 歴史(れき・し) 刃物(は・もの) 陶器(とう・き)

猿回(さる・まわ)し = サルにおどりや寸劇などの芸をさせる大道芸の一種。

傘(かさ) 咲(さ)いた 回復(かい・ふく) 寄(よ)せた

